令和７年４月定例会会議録

（令和７年４月２３日）

八代市教育委員会

八代市教育委員会４月定例会会議録

【開 催 日】	令和７年４月２３日（水）
【場　　所】	八代市役所本庁４階　４０３会議室
【出 席 者】	中　　勇　二　教育長 渡　邉　裕　一　教育委員 早　田　　蛍　教育委員 澤　村　亙　寛　教育委員 丸　山　智　子　教育委員
【出席職員】	田　中　智　樹　教育部長 鋤　田　敦　信　教育部次長 下　津　恵　美　教育部次長 押　方　佐地子　教育政策課長 加　賀　真　一　学校教育課長 稲　本　健　一　教育部理事兼教育施設課長 泉　　宣　孝　生涯学習課長 中　村　裕　一　教育サポートセンター所長 田　島　良　洋　博物館未来の森ミュージアム副館長 植　田　浩　之　未来の学校づくり推進室長
【事 務 局】	池　田　拡　次　教育政策課主幹兼教育政策係長 浦　本　美代子　教育政策課参事
（審議事項）	＜議案案件＞ ①八市教委議第１２号　八代市立幼稚園条例の一部改正について ②八市教委議第１３号　八代市立幼稚園園則の一部改正について ③八市教委議第１４号　八代市いじめ防止等対策委員会委員の委嘱について ④八市教委議第１５号　八代市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱又は任命について ＜報告案件＞ ①報告第８号　八代市特別支援教育推進計画の計画延長について ②報告第９号　令和７年度教育部組織目標について ③報告第１０号　臨時代理報告・八代市教育委員会職員の人事異動について

１．開会　　（午後３時３０分　開会）

２．会議録の承認　　　令和７年２月定例会、２月臨時会、３月臨時会

３．教育長報告　　　　前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された事項などの中で特に重要と思われるものについて報告

４．議題

＜八市教委議第１２号＞　八代市立幼稚園条例の一部改正について
＜八市教委議第１３号＞　八代市立幼稚園園則の一部改正について

中教育長　　　　　　２つの議案については、関連があるため、一括して学校教育課より説明をお願いしたい。

加賀学校教育課長　　八代市立幼稚園条例の一部改正について、八代市立幼稚園の６園が令和７年度末にすべて閉園し、令和８年度から新しい２園が開園することから、園名を定めるものである。また、八代市立幼稚園園則の一部改正については、令和８年度の開園に伴い、「八代市立幼稚園再編基本方針」に基づき、入園資格及び１学級の幼児数を定めるものである。

渡邉教育委員　　　　３歳児、４歳児、５歳児が２０人程度の３学級編成となり、満３歳児は別に１クラス設けることになるのだろうか。

加賀学校教育課長　　別に満３歳児クラスを設けることになる。

中教育長　　　　　　当然、部屋と担任は別に確保するのだろうか。

加賀学校教育課長　　そのようになる。

稲本教育部理事兼教育施設課長　　部屋については、現在協議を進めているところである。太田郷幼稚園については、絵本の教室として１教室使っているので、そこを半分に仕切って、満３歳児の教室ができないかと考えている。現状では、２階の部屋に教室を作らなければならないが、１階のほうが目が届くので、このような使い方ができないかと相談している。松高幼稚園についても同様である。１つの部屋を仕切って、満３歳児の教室と絵本の教室で使えるように工事を進めていけないか検討している。

中教育長　　　　　　しっかり園と話し合って進めてもらいたい。

【八市教委議第１２号　第１３号　承認】

＜八市教委議第１４号＞　八代市いじめ防止等対策委員会委員の委嘱について

加賀学校教育課長　　現在委嘱している八代市いじめ防止等対策委員会委員に異動等が生じたため、補欠委員を委嘱する。

質問等なし

【八市教委議第１４号　承認】

＜八市教委議第１５号＞　八代市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱又は任命について

加賀学校教育課長　　現在委嘱している八代市いじめ問題対策連絡協議会委員に異動等が生じたため、補欠委員を委嘱又は任命する。

丸山教育委員　　補欠委員の任期が５月２３日からとなっているが、何か理由があるのだろうか。また、八代市いじめ防止等対策委員会委員と同じ委員であるが、本議案では八代校長会長という役職で委員になられている。いじめ防止等対策委員会委員のほうでは、校長という役職となっているが、八代校長会長という役職でよいのだろうか。

加賀学校教育課長　　５月２３日は、第１回会議の開催日である。委員の役職は、八代校長会長である。

【八市教委議第１５号　承認】

＜報告第８号＞　八代市特別支援教育推進計画の計画延長について

加賀学校教育課長　　令和２年３月に策定した本計画は、５ヶ年計画となっており、令和７年３月で終了となるが、本市の教育に関する最上位計画である「八代市教育大綱」と「八代市教育振興基本計画」は４ヶ年計画で策定している。これらと整合性を図るために、本計画についても同時期に改訂することとした。また、現在、本計画の期間は５ヶ年としているが、「八代市教育大綱」と「八代市教育振興基本計画」に合わせて、期間を４ヶ年に変更する。

質問等なし

＜報告第９号＞　令和７年度教育部組織目標について

田中教育部長　　資料により説明
組織目標は、第３期八代市教育振興基本計画の総仕上げとして、教育行政における基本理念「やつしろの絆でつむぐ心豊かな人づくり」の実現に向け、教育委員会及び小中学校、

各関係機関等が連携・協力し情報を共有することで、八代の未来を担う人材の育成と生涯にわたり学び続けることができる体制を構築することとしている。
　重点施策として、次の４つの目標を掲げている。
目標１　子供たちの夢の実現に向けた学校教育の充実
目標２　安全で安心して楽しく学べる教育環境の整備とＩＣＴ活用のさらなる推進
目標３　学校と地域との連携による子供たちの生きる力の育成
目標４　生きがいやつながりを持てる社会の実現

澤村教育委員

　まだ目標設定というところで、具体的なところは分からないと思うが、２点質問したい。
　１点目は八代支援学校の教室不足に対応する取組について、小中学校の空き教室を「分教室」として利用するとあるが、現在、支援学校の教室数はどのような状況で、それを解消するために「分教室」をどういったところに設置するのか。
　もう１点は、くま川教室の他に「多様な学びの場」として、代陽幼稚園跡地の活用を検討するとあるが、その点について具体的な案があれば教えていただきたい。

田中教育部長

　２点とも、具体的なところについては、これから検討していきたいと思っている。まず１点目の八代支援学校の教室不足について、教室不足の状況は、教育施設課長に報告させたいが、教室が満員状態である。さらに、各小中学校の特別支援教室についてもかなり増えており、松高小学校、千丁小学校、太田郷小学校については、教室をこれ以上増やすことができない状態である。今後、学校の改築等を検討するにあたっても、いわゆる基準の３０教室をオーバーしてしまう。子供の数は減ってきているので教室数は減ってくるが、特別支援教室は、１人でも１教室としてカウントするため、文科省の基準である３０教室を超える形で、今増えている。今後、特別支援教室を考えたとき、医師との話し合いの中でも、どうしても支援学校では難しく、地元の学校に通いたいという意見も伺っているので、近隣の学校等のまだ余裕のある小学校等の空き教室等を活用し、「分教室」として計画ができないかということをこれから検討していきたいと考えている。
　２点目の代陽幼稚園跡地の「多様な学びの場」であるが、今現在、くま川教室で実施している、今年度から小学校の児童についても週５日来ているが、今考えているのは、代陽幼稚園ではくま川教室とは別に、自分が来たいときにちょっと来て時間を使ったり、くま川教室まではいかないがもう少しソフトな柔らかな支援として、「多様な学びの場」という新し

い取組ができないかと考えている。まだ幼稚園が開園しているので、これから跡地の利活用という面も含めたところで検討していきたい。まだ具体的なところは何も決まっていない。

稲本教育部理事兼教育施設課長　教室不足という点で、支援学校の現状について説明したい。１０年ほど前であるが、教室が不足してきたため、最初は図書室を教室とし、図書室がない状態であった。だんだんまた増えてきたため、図書室をさらに２つに分けた。あと、音楽室を改修して教室とした。今回、またさらに増えたため、数年前から１教室、６人で１クラスとなるが、これも今は２クラスとなっており、１つの教室に２クラスある状況になっている。小学部が足りないということであり、中学部については少し空いていたため、そこで学校運営上対応できないだろうかと相談した。高等部についてもスペースが空いていたため、そこで対応していただいている。年度当初、建設するにあたってのクラス数を想定していたが、それ以上に支援学校のクラスが増えた。今後、減る見込みはないと考えている。

澤村教育委員　特別支援教育に対するニーズがここ数年、すごいスピードで高まっている。施設の整備、教室の確保、特別支援教育のステップアップ研修等の充実など、大変であるがよろしくお願いしたい。

田中教育部長　教員不足の中でも、特別支援教育に対するニーズが高まっているので、ステップアップ研修は初任者中心であるが、新たな研修会等も予定しながら取り組んでいきたい。

中教育長　この組織目標については、教育部にはこのような課題があるので、こんな事業をしたいと市長、副市長に説明する場であるので、市長や副市長に、教育委員会でこういうことを行う必要があるということをインプットしてもらう重要な場でもある。閉園後の建物の活用等についても、いろいろな形で活用したいという話が外部からあるため、教育委員会が使いたいということを市長に説明をしたところである。使い勝手がよい施設については、どこも考えが同じである。ほかのところに負けないように、しっかり確保したいという思いがある。支援学校についても、１０年程前に建ったばかりであるが、教室が足りていないということを伝えておきたいという点から、目標の中に検討という形で入れている。

渡邉教育委員　幼稚園跡地の活用について、初めて公に出され、よいことだと思っている。くま川教室の他の利活用についても説明が

あったが、現在のくま川教室のあり様が現状でよいのかということも含めて検討していただきたい。オンライン出席について、その是非についても含めて幅広く検討していただきたき、近い将来の八代市の不登校対策のあり方を確立できるとよいと思っている。

田中教育部長　オンライン出席については、県でもオンラインでのバーチャル学校について新年度に取り組むというような話を聞いている。そのような取組があれば、本市でもオンラインでの学習の面を取り入れていきたいと思っている。また、くま川教室のあり様についても、これまでの指導方法など、いろいろな意味で検討していきたいと考えている。幼稚園跡地の利活用についても、八幡町にあったくま川教室を今後も使用したいという思いもあったが、今後、違う形での利用を考えているという教育部の新たな一手を示しておきたいという思いもあり、今回、検討材料としたところである。

中教育長　くま川教室については、４月１８日に開級式だったが、子供たちの人数が昨年に比べるとぐっと少なくなっていた。頑張って３月まで出てきた中学３年生が卒業したので減ったものであると思うが、いろいろな選択肢が広がればよいと思う。どのような選択肢が子供たちにとってニーズがあるのかを研究して、対策につなげていきたい。

早田教育委員　この目標を見ると、大きな項目が多いと感じた。私自身、学校教育というものが今、大きく変わろうとしているというのをとても感じており、「これから学校教育はどうなっていきますか」とチャットＧＰＴに聞いてみた。そうすると、１つ目は個別最適な学びの実現ということで、教育長が言われたとおり、その子に合った選択できる教育。２つ目は、探究的な学び。知識の詰め込みではなく、なぜ、どうすればを自分で考える学びが増えている。３つ目は、ＩＣＴ、ＡＩの積極的な活用。４つ目は、ＳＴＥＡM教育の拡大。科学、サイエンス、技術、テクノロジー、工学、エンジニアリング、芸術、アート、数学、マスマティクスの教育が重視されている。５つ目は、多様性と共生を学ぶ教育。６つ目は、教員の役割の変化。教える人から学びを支える人へ、ということで、この６つが出てきた。まさに、教育委員会でいつも話されるようなことが出てきて、コンピュータが出したことなので、どこまで信頼できるかという点はあると思うが、本当になるほどと思うことが出てきた。その中で、目標を見たときに、一つでもわくわくするような、子供たち、保護者が見て、また誰が見ても八代の教育は面白そうだなといったところが一目でわかると面白い思った。個人的に面白いと思った

のは、ＩＣＴを活用した国際教育（英語教育）のところである。「海外チャレンジ塾」などを見ると、八代も面白いことをするんだなというのが見える。

また、ＩＣＴ教育環境の充実について、現行の児童生徒用パソコンを更新するということだが、これまで数年間使用して、現状はどうだったのだろうかという点を少し検証する必要があるのではないかと思う。低学年の子供たちの活用について、本当に１人１台必要なのか。我が子を見ていると、４、５年生になってからしっかり使い始めたと思う。１年生のときは、持ち運びも重かったし、落としてしまうのではないかという不安もあった。やはり、低学年で大事な力とは何かという点と必要性と、学校の先生のお話しを聞きながら、学校でどのように活用していたかなど、単に全部変えるというよりはそのような調整も必要ではないかと感じた。

また、先生たちの研修も充実させていくということだが、これまでの学校教育が行ってきたことと、時代が変わって、どのように教育が変わっていくから、こういう力を付けてくださいというような研修も大事なのではないかと思う。今回、大事なこの一連の目標で、将来を見据えて、この柱をしっかり取り組むことがとても大事であると感じた。

田中教育部長　ＡＩの活用というのは、いろいろな情報誌を見ても各自治体で取組を進められている。本市においても、ＧＩＧＡスクール構想において、ＩＣＴ教育、ＩＣＴの活用を取り組んできた中で、子供たちに配付しているパソコンが更新を迎える機会に、ＡＬＴの先生とＡＩを活用しながらの英会話、英語力の向上を、今年度試験的に実施してみたいと考える。また、「海外チャレンジ塾」でＴＳＭＣの関係や本市の友好都市である台湾新竹市の子供たちと、ＩＣＴを活用した遠隔の授業や給食などにチャレンジし、後々には行き来したいと考える。バドミントンでは本市に来ていただいているが、スポーツ以外でも子供たちと触れ合いができたらということを考えている。これまでの授業での取組を変えるのは、やはり授業改善がかなり必要であると感じている。これが子供たちへのこれからの新しい学力の向上に向けた取組であると思われるため、学校教育課を含めたところで取組を進めていきたい。

丸山教育委員　英語教育についてであるが、学力の向上への取り組みのところで、英検３級程度以上の取得率３０パーセント以上を目指すということで、英検受験は補助を出して、全員受験できるような支援体制が整えてあるが、今度は合格してもらうための英語の力を付けるというのが大事になってくると思う。そのために、どのようにしていかれるのかと思っていたところ、ＩＣＴを使用した英語教育の充実という目標があったの

で、なるほどと思った。

英会話アプリの導入については、どのような形で導入されるのか。モデル校で行うのか、全学校で取り組まれるのかということと、「海外チャレンジ塾」がどのようなものなのか、もう少し具体的に伺いたい。

押方教育政策課長　ＡＩを活用した英会話アプリについては、今年度、興味のある学校にモデル的に授業で使えるのかを検証していただきたいと考えている。現在、１、２校ほどの学校に相談しているところである。学校教育課と協力して授業で使ってもらい、定着できるものであるかを検証し、できれば来年度の予算要求に反映できたらと考えている。

丸山教育委員　今年度は予算は確保していないということでよいか。

田中教育部長　昨年度までの３年間、スタディサプリを使用した。３年間使用した後の検証を行い、もう一つのｅライブラリに一本化することで進めることになっている。ＡＩの英会話アプリも相当な費用がかかる。スタディサプリと同様に、続けてみたものの思うように効果が得られなかったという結果になるかもしれないが、まずはどこかの学校、学級でチャレンジしてもらい、効果が出るようであれば財政面と接触していきたいと考えている。全国の他の自治体でも一定の効果が上がっている有名なアプリである。本市にはＡＬＴの先生がいるので、生の英語で会話をしており、そちらとの兼ね合いもある。今後、学校教育課と調整しながら取り組んでいきたい。具体的なところは見えていない。

早田教育委員　先日、インターアクトクラブの高校生が台湾の高校生たちと交流をされるので、私たちも台湾の方と大人同士、交流をするという事業に参加したが、無料の英会話アプリで交流できた。そんなに英会話も中国語もできないが、そのアプリがあれば、そんなに費用をかけずに言葉の壁を越えて交流することができる。ＡＩの英会話アプリがどのようなものかは分からないが、英語能力や中国語能力が高くなくても、国際交流ができる時代になっているのだと感じた。

中教育長　英検３級程度の実力を持つ子供たちの目標を打ち出したが、国は６０％と言っている。国が目標を示すからには、ある程度達成できそうだということで出していると思うが、本市の現状からいくと全く達成できそうにない。まだ３０％もない状況である。何かカンフル剤を打って、勢いをつけてあげないという本市の現状があるので、傍観しているわけにはいかないので、何かできないかということで検討している

ところである。技術が進むと翻訳ができるものができる時代がくると思うが、現状としては、子供たちに英語力をつけてあげたい。他の市町村はどんどん伸びているのに、八代市だけが伸びないというのはよくないと思うので、何か工夫しながら頑張ってもらいたいと思う。

丸山教育委員　　英検を受験することも大事であるが、その程度の力を持っているということの方が大事だと思う。ＡＬＴの先生がいらっしゃるが、学校訪問で英語の授業を見て思うのは、もう少しＡＬＴの先生が活躍されているのかと思っていたが、意外とサポートという感じで、ちょっと発音をしてみられるだけという状況だった。見た授業がそうだっただけかもしれないが、もう少し主体的に授業に関わっていただき、子供たちが外国人に対するアレルギーをなくすような、そのような存在でいていただけるとよいと思っていた。

田中教育部長　　一定の子供たちが１年間で、ＡＬＴと話すのは何分間あるのだろうかと思う。積極的な子供は話しかけていくのかもしれないが、そうでない子供は話すチャンスもないかもしれない。英語を勉強したいということであれば、このＡＩのソフトウエアアプリはいつでもどこでも英会話の勉強ができるため、その点はよいのではないかと思う。ＡＬＴがよくないということではなく、今のＧＩＧＡスクール構想からすると、ＡＬＴはＧＩＧＡスクール構想以前から導入しており、かなりの人件費を使っているので、もう少し効果を上げたいというのが正直なところである。

加賀学校教育課長　　個別最適化という点では、ＩＣＴを導入すると、その子に合った能力でいつでも気軽にチャレンジできると思う。ただ、機械相手であるので本来の目的とは違う。生きた英語という点で、ＡＬＴをしっかり活用していただきたい。また、スペシャルイングリッシュタイムを導入すると、最大５人程度のＡＬＴを１校に派遣することができる。中学校では、パフォーマンステストなどに活用していただきたい。昨年は１５校中６校が活用し、そのうちの３校は２回活用している。学校教育課としてもＡＬＴ活動をしっかりしていくと、ＡＬＴの有効な活用につながると考える。

丸山教育委員　　ＡＩの英会話アプリも効果が発揮されるまでには、それなりの期間がかかると思うが、予算要求前に、何らかの効果が検証できるよう早めに取り組まれるとよいと思う。
　また、「海外チャレンジ塾」について、もう少し具体的に教えていただきたい。

押方教育政策課長　　今年度については、国際課と協議を行っているところであり、具体的ではない。昨年度は代陽小学校の子供たちが、台湾の子供たちと交流を行った。日本の給食の献立を台湾で、台湾の給食の献立を代陽小で作って、オンラインで交流を行った。今年度も同様にできないかと国際課と打合せを行っている。それ以外でも何かできることがないか検討したい。

中教育長　　台湾との交流については、八代市の大きな政策として掲げられているので、教育の分野で何かできることはないかと、アイデアを出してもらった。これが広がっていくとよいと思う。

渡邉教育委員　　英検、英語の学力、ＡＬＴ、ＡＩアプリなど行政側がいろいろな手立てを考え、提供しているが、何十年も授業が改善されていないというのは、皆が共有している意識だと思う。このような取組を進めるに当たって、やはり現場の先生方の意見や考えをしっかり聞いて、一緒に取り組んでいかないと負担感や意見の相違が出てくる。そうすると、授業に反映されていかない。ぜひ、現場の先生方がどんな授業改善をすべきなのか、教育委員会の考えだけではなく、本人たちがどう考えているのかをお互いに理解し合い、このようなアプリを導入する目的、活用についても、積極的に先生方が取り組めるような素地を作っていただければ、少しずつ前に進んでいくのではないかと思ったところである。

田中教育部長　　教育政策課から進めていくと、どうしても行政的な部分が出てきてしまうので、学校教育課と一緒に連携しながら、現場の声を十分聞きながら進めたい。ＩＣＴについては、現場の先生方の負担感しか残らないという声も聞くので、そのようなことがないようにしたい。

中教育長　　先生方の意識改革について、現場からもっと出てくると一番よいと思う。現場の取組と行政側の働きかけとうまくかみ合って繋がっていくとよいと思う。

澤村教育委員　　博物館再開館に向けた取組について、キャッシュレス決済や音声ガイドの導入、カフェの再開とあるが、このようなものは、現在必要なものであると感じたところである。音声ガイドは日本人向けと外国人向けということであるが、インバウンドもあるので、海外の方も音声ガイドがあるととても利用しやすくなると思う。中国語や英語、フランス語に対応できれば大変良いと思った。また、カフェの再開についても、非常に有効であると思う。お茶を飲みに来て、博物館の中も見てみようという方もいるかもしれないと思った。

再開館記念事業である秋季特別展覧会は、今年の秋に行われるのだろうか。

田中教育部長　来年の秋に行うものである。
今回の改修は、自動ドアや展示物の照明のＬＥＤ化など、設備の改修が主である。建物の外観が変わったり、部屋の仕切りが変わったりというような改修は行っていないが、そのような中でも、来年４月、再開館したときに、市民の皆さまが、よくなったなと思っていただけるよう、アピールしていきたいということで、キャッシュレス決済や音声ガイドを導入した。また、長らく閉めていたカフェをどうにか再開して、魅力ある博物館を掲げていきたい。

田島博物館未来の森ミュージアム副館長　できるだけ市民の皆さまの目を引き、市民の皆さまが興味を持って学習していただける場となるよう努力したい。

＜報告第１０号＞　臨時代理報告・八代市教育委員会職員の人事異動について

押方教育政策課長　資料により説明

丸山教育委員　質問ではなくお願いであるが、今回、異動があった方はこの資料で理解できるが、教育委員会の全体の職員名簿、各課ごとの名簿をいただければありがたい。

５．連絡事項
学校教育課　ｉ－ｃｈｅｃｋのＣＢＴでの実施（5/12～23）
学校・園訪問（Ｃ訪問）（5/22～11/17　14 校）
運動会（5/17～）春開催 20 校、秋開催 25 校
生涯学習課　若鳩子ども会開級式（5/10）
家庭教育学級運営委員研修会（5/13）
八代市地域学校協働本部第１回会議（5/20）
教育サポートセンター　研修会（5/12～毎月実施予定）
博物館　博物館友の会総会（5 月下旬）
未来の学校づくり推進室
再編等審議会答申（4/24）
事務局　５月定例会日程確認（5/26　14：00～）

６．会議録署名委員の指名　渡邉委員・丸山委員

７．閉会　（午後４時５１分　閉会）

令和　　年　　月　　日

署名委員

____

____

記録者

____